

自己評価報告書(最終報告)

報告者

芸術系コース(音楽)
／山田 啓明

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

ここ数年、コースの全教員で「学生たちの自己省察力の育成をめざした音楽科教員養成カリキュラムの研究」と題して、科研費を申請中である。前回採択されなかった理由について反省し、今年こそ採択される様、他の教員と協力してゆきたい。

2. 点検・評価

申請済み。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

指揮やピアノの伴奏等、年に数回演奏会に出演しているので、その機会を利用して大学院および音楽科コースの宣伝をしたい。

2. 点検・評価

7月に行なわれた七夕コンサートにおいて受付に大学院のパンフレットを置いて配布した。また、大学院の授業の成果をYouTubeの「指揮 鳴教」のチャンネルにおいて動画を公開している。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

本学音楽科コースの学生は、常勤の音楽学分野の教員がいないこともあって、音楽理論や音楽史の分野が非常に弱く、それが教員採用対策においてネックとなっていると思われる。今年度から指揮Ⅰ、指揮Ⅱの授業において以前以上に西洋音楽史の内容を充実させるとともに、指揮の実技においてもより実践的な内容に変えるべく準備中である。また昨年度から2クラスに分けた「保育内容(表現Ⅰ)」の授業では内容を精選して、特にソルフェージュと童謡の弾き歌いに重点をおいた授業を展開する予定である。

2. 点検・評価

指揮Ⅰ、指揮Ⅱの授業で音楽史の講義を行った。とくに指揮Ⅰでは新たに教材を作り、インターネットの動画サイトを利用して効率的な授業をこころがけた。また、保育内容では、弾き歌いと譜読みに授業内容を特化し、譜読みに関する教材を新たに開発して利用したが、思うような効果は上がらなかったようである。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

現在のところ、今年度は以下の演奏会が予定されている。
7月MUSICADE2012七夕コンサート(徳島)、小川明子アルトリサイタル(東京)
9月小川明子アルトリサイタル(埼玉)
12月大分大学医学部管弦楽団定期演奏会、Chorus9クリスマスコンサート
1月小川明子アルトリサイタル

2. 点検・評価

7月MUSICADE2012七夕コンサート(徳島)、小川明子アルトリサイタル(東京)
8月小川明子アルトリサイタル(下関)
9月小川明子アルトリサイタル(埼玉)
7～11月三番叟の編曲、録音(徳島県、那賀町)
12月大分大学医学部管弦楽団定期演奏会
1月小川明子アルトリサイタル(大分)
2月第九演奏会(徳島・阿南)
2月第九演奏会(徳島・鳴門)

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

今年度は以下の委員を務める予定である。

学部入試委員
学術研究推進委員
附属学校運営委員

2. 点検・評価

学部入試委員, 学術研究推進委員, 附属学校運営委員をつとめた。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

23年度は, 以下の様な社会との連携活動があった。現在のところ特に予定はないが, 要請があり次第協力するつもりである。

7月第34回全日本おかあさんコーラス四国支部徳島大会審査員
9月, 10月平成23年度サンポートホール高松自主事業『サンポートホール高松デビューリサイタル』オーデション審査員

2. 点検・評価

8月徳島県学校合奏コンクール審査員(鳴門市)
2月徳島県合唱アンサンブルコンテスト審査員(徳島市)
2月大学学部学科説明会(阿波高等学校)

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

とくになし